

庁舎等の適正配置方針

目指すべきサービスのあり方

近い将来発生が想定される南海トラフ地震や、近年頻発する大規模災害に見舞われた際にも、市役所をはじめとした庁舎等の義務的施設は、行政事務や危機管理対応機能の業務継続性が必要とされる施設である。市が担うべき役割、市民のニーズやライフスタイルなどの社会環境の変化等を踏まえつつ、より住みやすい街づくりを念頭に、市民が安全・安心に生活できる環境づくりを推進していく。

対象施設

清洲資源回収ステーション



延床面積	52 m ²
経過年数	50 年(統合)
一次評価	ハート'偏差値:30.0

春日資源回収ステーション



延床面積	60 m ²
経過年数	19 年(統合)
一次評価	ハート'偏差値:59.6

学校給食センター



延床面積	3,628 m ²
経過年数	6 年(長寿命化)
一次評価	ハート'偏差値:69.4

にしびりサイクルセンター



延床面積	122 m ²
経過年数	13 年(譲渡)
一次評価	ハート'偏差値:67.0

西枇杷島庁舎



延床面積	2,970 m ²
経過年数	49 年(廃止)
一次評価	ハート'偏差値:31.5

市役所庁舎(北館)



延床面積	6,549 m ²
経過年数	4 年(長寿命化)
一次評価	ハート'偏差値:70.3

市役所庁舎(南館)



延床面積	5,570 m ²
経過年数	34 年(長寿命化)
一次評価	ハート'偏差値:48.5

たんぽぽ園



延床面積	769 m ²
経過年数	37 年(改築)
一次評価	ハート'偏差値:48.6

※経過年数は 2020 年 3 月時点

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値≥50
×:偏差値<50

適正配置の内容と実施時期

- 市役所庁舎（北館、南館）と学校給食センターは、定期的に改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。
- 西枇杷島庁舎は、隣接する西枇杷島会館の西部休日急病診療所が 2029 年度予定の統合保健センターへ複合化を予定していることから、同時期である 2029 年度を目途に解体を検討する。
- たんぽぽ園は、建築後の経過年数が 60 年目を迎える 2043 年度を目途に改築を検討する。
- にしびりサイクルセンターは、20 年目を迎える 2027 年度の大規模改造時期を目途に、現在施設を利用している民間団体等への譲渡を検討する。
- 資源回収ステーションは、回収量の約 7 割を清洲資源回収ステーションで回収しており、各地域での回収場所が 200 箇所以上あることから、清洲資源回収ステーションの改築時期である 2030 年度までを目途に、統合を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
市役所庁舎(北館)									大規模 改造 (6.5)		長寿命化 改修 (15.7)
市役所庁舎(南館)							長寿命 化改修 (13.4)			大規模 改造 (5.6)	
西枇杷島庁舎	大規模 改造 (3.0)							廃止 2029年度 (1.2)	改築 (11.9)		大規模 改造 (3.0)
たんぽぽ園				大規模 改造 (0.6)						改築 2043年度 (2.3)	
学校給食センター									大規模 改造 (3.0)		長寿命化 改修 (7.2)
にしびりサイクルセンター								譲渡 2027年度 (-)	大規模 改造 (0.1)		大規模 改造 (0.1)
春日資源回収ステーション		大規模 改造 (0.1)						統合 2030年度 (-)		大規模 改造 (0.1)	
清洲資源回収ステーション	大規模 改造 (0.1)							改築 2030年度 (0.2)			大規模 改造 (0.1)

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約 16% 削減 (19,720 m² ⇒ 16,491 m²)

※グレー字の項目は、統廃合等を実施しない場合に実施する改修等の内容を示す
※（ ）内の数字は概算工事費を示す（単位：億円）
※改築にあたっては、将来的に人口減少が進展することを見据え、現在の延床面積の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする
※にしびりサイクルセンターは、譲渡後に 0 m²になると仮定する
※統合後の資源回収ステーションの面積は、現在の清洲資源回収ステーションと同規模とする

文化ホールの適正配置方針

目指すべきサービスのあり方

文化ホールは、成人式等の市主催の事業の場であるほか、文化活動や音楽活動等を通じて、市民の自由な創造活動の促進に寄与してきた。大規模かつ多目的に利用可能な施設であることから、近隣の自治体からも利用され、市民のみならず地域に貢献する施設である。利用状況の実態やニーズ等の分析により集中と効率化を図ることで、より質の高い空間を整備し、文化芸術活動の振興および市民の交流の活性化を図る。

対象施設



※経過年数は 2020 年 3 月時点

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値≧50
×:偏差値<50

適正配置の内容と実施時期

- ・小田井公民館は、定期的に改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。
- ・カルチバ新川は、小田井公民館の長寿命化改修（40 年目を迎える 2030 年度）に合わせて、同施設への統合を検討する。
- ・春日公民館は、建築後の経過年数が 60 年目を迎える 2049 年度までに改築を検討する。
- ・清洲市民センター（ホール部分）は、春日公民館の大規模改造（40 年目を迎える 2029 年度）に合わせて、同施設との統合を検討する。
- ・清洲市民センター（集会施設部分）は、2029 年度までを目途に統合する保健センターへの複合化を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
新川地域文化広場 (カルチバ新川)								統合 2030年度 (-)			改築 (7.3)
小田井公民館 (複合施設)								長寿命化 改修 (3.1)			大規模 改造 (1.3)
春日公民館								大規模 改造 (4.7)			改築 2049年度 (14.0)
清洲市民センター (中央公民館)	大規模 改造 (3.1)							統合 2029年度 (-)		改築 (12.4)	

統合保健センターへ複合化
清洲市民センター（集会施設機能）

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約 49% 削減 (10,927 m² ⇒ 5,522 m²)

- ※グレー字の項目は、統廃合等を実施しない場合に実施する改修等の内容を示す
- ※（ ）内の数字は概算工事費を示す（単位：億円）
- ※改築にあたっては、将来的に人口減少が進展することを見据え、現在の延床面積の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする
- ※カルチバ新川の延床面積は、統合により 0 m²になると仮定する
- ※清洲市民センターの集会施設部分は、複合化に合わせて現在の延床面積（817 m²）の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする
- ※春日公民館と清洲市民センターの統合後の面積は、各施設の現在の面積（清洲市民センターの集会施設部分を除く）の 50%を合計した値と仮定する
- ※複合化施設に係る費用は主たる施設に計上する

集会施設の適正配置方針(1/2)

目指すべきサービスのあり方

集会施設は、地域コミュニティの形成を図ることを目的として設置された施設であり、地域住民が主体となって生涯学習等の活動拠点として利用している。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により集中と効率化を図ることで、より質の高い空間を整備し、多様な市民活動の運営、各種活動を通じた多世代間の出会いや交流の促進、地域社会へ積極的に参画を促すコミュニティの創造等を支援していく。

対象施設

清洲コミュニティセンター



延床面積	298 m ²
経過年数	32 年(譲渡)
一次評価	ハード偏差値 48.3

朝日公民館



延床面積	374 m ²
経過年数	40 年(長寿命化)
一次評価	C

水の交流ステーション



延床面積	372 m ²
経過年数	7 年(長寿命化)
一次評価	A

新川ふれあい防災センター



延床面積	2,051 m ²
経過年数	50 年(改築)
一次評価	D

みずとぴあ庄内



延床面積	460 m ²
経過年数	15 年(長寿命化)
一次評価	ハード偏差値 65.8

西枇杷島会館



延床面積	2,010 m ²
経過年数	49 年(統合)
一次評価	D

にしびさわやかプラザ



延床面積	2,200 m ²
経過年数	16 年(長寿命化)
一次評価	C

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値≧50
×:偏差値<50

※経過年数は2020年3月時点

適正配置の内容と実施時期

★西枇杷島中学校区

- 西枇杷島会館は、西部休日急病診療所が2029年度予定の統合保健センターへ複合化を予定していることから、同時期である2029年度を目途に解体を検討する。
- 西枇杷島会館の集会施設部分は、保健センターの統合を検討する2029年度を機に、にしびさわやかプラザへの統合を検討する。
- 西枇杷島会館の西部休日急病診療所は、2029年度予定の統合保健センターへの複合化を検討する。
- にしびさわやかプラザは、定期的に改修等を行い、複合化施設（老人憩の家、西枇杷島老人福祉センターなど）として80年を目標とした長寿命化を図る。
- 水の交流ステーションとみずとぴあ庄内は、定期的に改修等を行い、80年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
水の交流ステーション									大規模 改造 (0.4)		長寿命化 改修 (0.9)
庄内川水防センター (みずとぴあ庄内)						大規模 改造 (0.5)				長寿命化 改修 (1.1)	
西枇杷島勤労福祉会館 (にしびさわやかプラザ)								大規模 改造 (2.2)		長寿命化 改修 (5.3)	
西枇杷島会館								統合・廃止 2029年度 (0.8)	改築 (8.0)		大規模 改造 (2.0)

統合保健センターへ複合化
西部休日急病診療所

★新川中学校区

- 新川ふれあい防災センターは、建築後の経過年数が60年目を迎える2030年度を目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
新川ふれあい防災センター	大規模 改造 (2.1)							改築 2030年度 (4.8)			大規模 改造 (1.2)

集会施設の適正配置方針(2/2)

★清洲中学校区

- ・清洲コミュニティセンターは、建築後の経過年数が 40 年目を迎える 2028 年度の大規模改造時期を目途に、民間団体等への譲渡を検討する。
- ・朝日公民館は、定期的に改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
清洲コミュニティセンター							大規模 改造 (0.3)	譲渡 2028年度 (-)			改築 (1.2)
朝日公民館	長寿命 化改修 (0.9)									大規模 改造 (0.4)	

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約 40% 削減 (7,765 ㎡ ⇒ 4,687 ㎡)

※グレー字の項目は、統廃合等を実施しない場合に実施する改修等の内容を示す
※（ ）内の数字は概算工事費を示す（単位：億円）
※西部休日急病診療所は、複合化に合わせて現在の延床面積（77 ㎡）の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする
※新川ふれあい防災センターの延床面積は、改築時に現在の倉庫面積分（839 ㎡）を規模縮小すると仮定する
※清洲コミュニティセンターは、譲渡後に 0 ㎡になると仮定する
※複合化施設に係る費用は主たる施設で計上する

保健施設の適正配置方針

目指すべきサービスのあり方

保健センターの主な役割は、各種検診の実施と検診時の面談を活用して相談の場を提供することである。乳幼児健診を通じて虐待やDVの早期発見など、担当部署と連携して市民の生活支援を行うための窓口となっている。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により集中と効率化を図り、地域保健の広域的、専門的かつ技術的な拠点として、安心して利用できる環境を整えると同時に、地域保健対策の機能強化を図る。

対象施設



※経過年数は 2020 年 3 月時点

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値≧50
×:偏差値<50

適正配置の内容と実施時期

- 各保健センターは、大規模改造を実施せず、2029 年度までを目途に同施設との統合を検討する。

清洲市民センターのホールについて、2029 年度に春日公民館への統合を検討しており、地域住民に利用されている清洲市民センターの集会施設機能の移転先として、同時期に統合保健センターとの複合化を検討する。
- 西枇杷島会館の解体に伴い、西部休日急病診療所の移転先として、統合保健センターとの複合化を検討する。
- 西枇杷島保健センターは、定期的な改修等により 80 年を目標とした長寿命化を図り、保健センターの統合後は、他施設の移転先として検討する。(集会施設の適正配置計画で詳述)

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
西枇杷島保健センター								統合 2029年度 (7.9)	大規模 改造 (0.7)	長寿命化 改修 (1.7)	大規模 改造 (2.0)
清洲保健センター	大規模 改造 (0.5)									改築 (2.2)	
新川保健センター			大規模 改造 (0.5)							改築 (2.0)	
春日保健センター	大規模 改造 (0.6)									改築 (2.4)	

他施設から複合化

清洲市民センター（集会施設機能）
西部休日急病診療所

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 20% 削減 (2,608 m² ⇒ 2,087 m²)

※グレー字の項目は、統廃合等を実施しない場合に実施する改修等の内容を示す
※（ ）内の数字は概算工事費を示す（単位：億円）
※統合後の保健センターの面積は、各保健センターの現在の面積の 50%を合計した値と仮定
※「適正配置計画による効果」に示す延床面積には、複合化する集会施設等の増分は含まない。(集会施設や福祉施設の適正配置計画で計上)

福祉施設の適正配置方針(1/2)

目指すべきサービスのあり方

人生 100 年定年延長の時代を鑑み、近年問題となっている高齢者の孤立化への対策が求められる。人と人とのつながりを通じて、各々が生きがいと役割を持って生活できる地域を目指すためには、福祉施設のみの対応では不十分である。施設の役割を見直し、他施設との複合化を図ることにより、地域コミュニティと連携した高齢者福祉を構築し、心身ともに健康な生活を送ることが可能になる環境づくりを推進する。

対象施設

清洲総合福祉センター



延床面積	5,219 m ²
経過年数	17 年(長寿命化)
一次評価	C

春日老人福祉センター



延床面積	2,206 m ²
経過年数	40 年(複合化)
一次評価	D

新川福祉センター



延床面積	673 m ²
経過年数	38 年(複合化)
一次評価	B

にしび創造センター



延床面積	1,784 m ²
経過年数	30 年(長寿命化)
一次評価	C

にしびさわかプラザ



延床面積	68 m ²
経過年数	43 年(統合)
一次評価	ハード'偏差値:39.5

老人憩の家



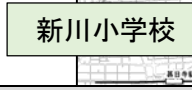
延床面積	68 m ²
経過年数	43 年(統合)
一次評価	ハード'偏差値:39.5

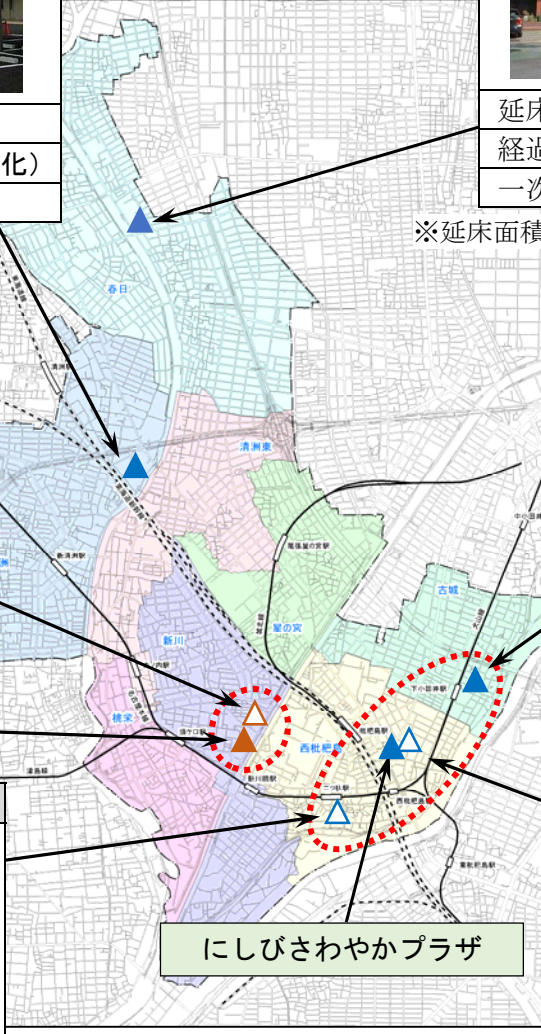
西枇杷島老人福祉センター



延床面積	876 m ²
経過年数	41 年(統合)
一次評価	D

新川小学校





※延床面積は県貸付部 (1,125 m²) を含む

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○: 偏差値 ≥ 50
×: 偏差値 < 50

※経過年数は 2020 年 3 月時点

適正配置の内容と実施時期

★西枇杷島中学校区

- ・にしび創造センターは、定期的に改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。
 - ・2029 年度に保健センターの統合を契機として周辺施設の複合化を検討することから、西枇杷島老人福祉センターと老人憩の家も同様に、大規模改造を実施せず、同時期にしび創造センターとの統合を検討する。(にしび創造センターは、40 年目の 2030 年度に長寿命化改修を予定するが、必要に応じて 1 年前倒しする。)
- ※西枇杷島老人福祉センターと老人憩の家は、にしびさわかプラザとの複合化も同時に検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
西枇杷島老人福祉センター	大規模改造 (0.8)							統合 2029年度 (-)		改築 (3.2)	
老人憩の家	大規模改造 (0.1)								改築 (0.2)		大規模改造 (0.1)
西枇杷島生きがいセンター (にしび創造センター)								長寿命化改修 (3.9)			大規模改造 (1.6)

★清洲中学校区

- ・清洲総合福祉センターは、定期的に改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
清洲総合福祉センター				大規模改造 (4.7)						長寿命化改修 (11.3)	

福祉施設の適正配置方針(2/2)

★新川中学校区

・新川福祉センターは、大規模改造を実施せず、2035 年度の新川小学校の改築に合わせて、同施設への複合化を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
新川福祉センター			大規模 改造 (0.6)						複合化 2035年度 (2.2)	改築 (2.4)	



★春日中学校区

・春日老人福祉センターは、建築後の経過年数が 60 年を迎える 2040 年までを目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
春日老人福祉センター	大規模 改造 (1.0)									改築 2040年度 (7.1)	

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約 11% 削減 (10,826 m² ⇒ 9,592 m²)

※グレー字の項目は、統廃合等を実施しない場合に実施する改修等の内容を示す
※（ ）内の数字は概算工事費を示す（単位：億円）
※複合化にあたっては、現在の延床面積の 90%まで規模縮小を図ると仮定する
※改築にあたっては、将来的に人口減少が進展することを見据え、現在の延床面積の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする
※西枇杷島老人福祉センターと老人憩の家は、統合後に 0 m²になると仮定する
※複合化施設に係る費用は主たる施設で計上する

歴史的施設・図書館・博物館等の適正配置方針

目指すべきサービスのあり方

清洲城等の歴史的建造物は、清須市の象徴として、市民や子供たちを中心に、地域の伝統文化継承の機運を高める役割を担っている。教養・文化施設は、学術および文化に関する各種の事業を行い、市民の教養の向上、市民の芸術・文化活動を推進する目的に設置され、清須市の文化の発展に資する施設である。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により民間活力の活用を含めた効率化を検討しつつ、保存活動を推進していく。

対象施設

はるひ美術館



延床面積	696 ㎡
経過年数	21 年(長寿命化)
一次評価	C

市立図書館



延床面積	3,436 ㎡
経過年数	23 年(長寿命化)
一次評価	A

清洲ふるさとのやかた



延床面積	492 ㎡
経過年数	28 年(長寿命化)
一次評価	ハート偏差値:53.2

清洲城・天主閣

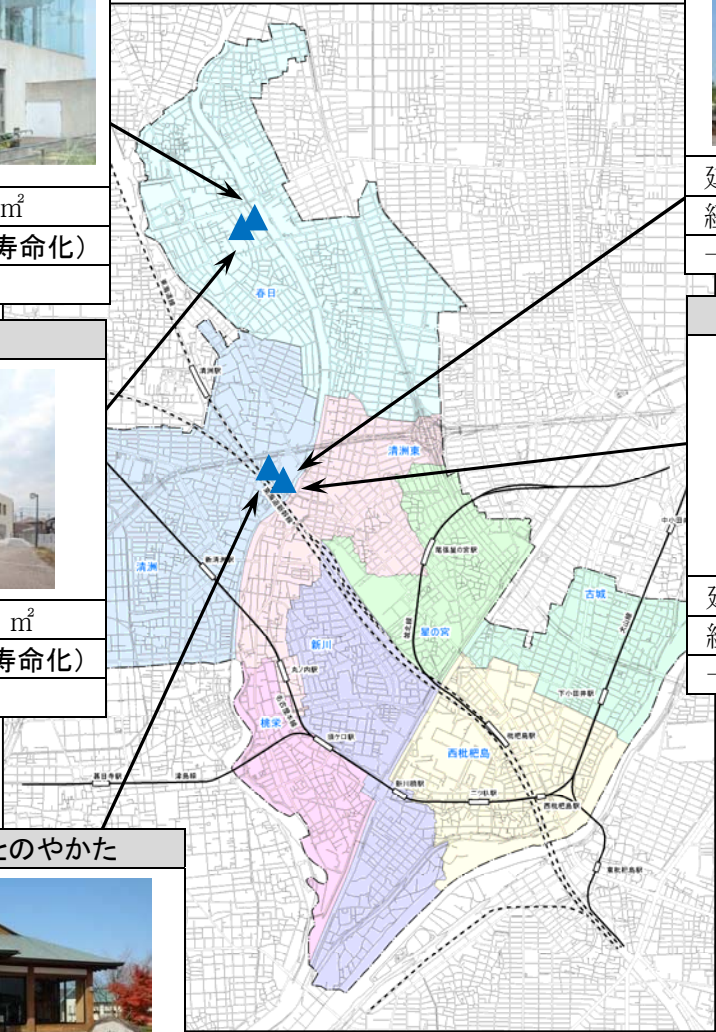


延床面積	773 ㎡
経過年数	32 年(長寿命化)
一次評価	ハート偏差値:44.7

清洲城・芸能文化館



延床面積	331 ㎡
経過年数	32 年(長寿命化)
一次評価	ハート偏差値:44.7



※経過年数は2020年3月時点

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値≥50
×:偏差値<50

適正配置の内容と実施時期

- ・天主閣と芸能文化館は、2019年度と2020年度の2カ年で長寿命化改修を実施中であり、80年を目標とした長寿命化を図る。
- ・清洲ふるさとのやかたは、定期的に改修等を行い、80年を目標とした長寿命化を図りつつ、民間活力等の積極的な活用など、観光振興対策を検討する。
- ・市立図書館は、定期的に改修等を行い、80年を目標とした長寿命化を図る。
- ・美術館は、定期的に改修等を行い、80年を目標とした長寿命化を図りつつ、民間活力等の活用を視野に、夢広場との一体的な利活用方法を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
清洲城・天主閣	長寿命化改修(0.8)										大規模改造(0.7)
清洲城・芸能文化館	長寿命化改修(0.4)										大規模改造(0.3)
清洲ふるさとのやかた									長寿命化改修(1.1)		大規模改造(0.4)
市立図書館										長寿命化改修(8.2)	
はるひ美術館										長寿命化改修(1.7)	

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約0% 削減 (5,728 ㎡ ⇒ 5,728 ㎡)

※ () 内の数字は概算工事費を示す(単位:億円)
※天主閣と芸能文化館の長寿命化改修費は総費用の半分を計上する
※西枇杷島問屋記念館、清洲城・蔵、飴茶庵については、建築年度が不明であるため、今後所管課にて検討するものとし、適正配置方針の検討の対象外とする。

スポーツ施設の適正配置方針

目指すべきサービスのあり方

市民のみならず多くの利用者が訪れる施設である。個人及び団体によるスポーツ活動のほか、生き甲斐や健康づくりの目的でも利用され、超高齢社会を見据えた介護予防への啓蒙活動にも寄与することが見込まれる。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により集中と効率化を図ることで、より質の高い空間を整備し、スポーツおよびレクリエーションの振興、市民福祉の増進を図る。

対象施設

適正配置の内容と実施時期

- ・カルチバ新川は、ホール部分について 2030 年度に小田井公民館との統合を検討するため、プールについても 2030 年度に ARCO 清洲との統合を検討する。
- ・ARCO 清洲のプールは、40 年目で実施する 2034 年度の大規模改造を前倒し、上記の理由から 2030 年度にカルチバ新川との統合を検討する。
- ・ARCO 清洲の体育館は、建築後の経過年数が 60 年目を迎える 2054 年度を目途に、改築を検討する。
- ・春日 B & G 体育館は、2017 年度に長寿命化改修を実施済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
清洲勤労福祉会館 (ARCO清洲):体育館								大規模 改造 (4.8)			改築 2054年度 (19.6)
清洲勤労福祉会館 (ARCO清洲):プール								統合・ 大規模 改造 2030年度 (3.1)	大規模 改造 (4.8)		改築 2054年度 (14.2)
新川地域文化広場 (カルチバ新川):プール	大規模 改造 (1.4)								大規模 改造 (1.4)		
春日B&G体育館										大規模 改造 (1.2)	

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約 29% 削減 (15,490㎡ ⇒ 10,955㎡)

※グレー字の項目は、統廃合等を実施しない場合に実施する改修等の内容を示す
※ () 内の数字は概算工事費を示す (単位: 億円)
※改築にあたっては、将来的に人口減少が進展することを見据え、現在の延床面積の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする
※プールの統合により、各施設の延床面積が 50%に縮減すると仮定する



※経過年数は 2020 年 3 月時点

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値≥50
×:偏差値<50

小・中学校の適正配置方針(1/2)

目指すべきサービスのあり方

小・中学校は地域コミュニティのシンボルであり、大規模災害時には避難所としても利用される重要な施設のひとつである。少子化に伴う児童・生徒の減少を踏まえた施設規模を検討しつつ、将来は、児童福祉施設をはじめとした他施設との複合化を図ることで、子どもの保護者を中心とした「若い世代の交流空間」と、高齢者や地域住民等と共同で利用する「多世代型の公共空間」を形成していく。

対象施設

清洲中学校



延床面積	8,844 m ²
経過年数	51 年(長寿命化)
一次評価	A

春日中学校



延床面積	5,916 m ²
経過年数	43 年(長寿命化)
一次評価	A

春日小学校



延床面積	6,925 m ²
経過年数	51 年(長寿命化)
一次評価	B

星の宮小学校



延床面積	4,871 m ²
経過年数	46 年(長寿命化)
一次評価	A

清洲東小学校



延床面積	5,867 m ²
経過年数	40 年(長寿命化)
一次評価	A

清洲小学校



延床面積	9,134 m ²
経過年数	65 年(長寿命化)
一次評価	A

桃栄小学校



延床面積	5,501 m ²
経過年数	30 年(長寿命化)
一次評価	A

新川中学校



延床面積	9,056 m ²
経過年数	50 年(長寿命化)
一次評価	A

新川小学校



延床面積	7,840 m ²
経過年数	65 年(長寿命化)
一次評価	B

西枇杷島小学校



延床面積	8,771 m ²
経過年数	33 年(長寿命化)
一次評価	A

西枇杷島中学校



延床面積	10,411 m ²
経過年数	60 年(長寿命化)
一次評価	B

※経過年数は 2020 年 3 月時点

適正配置の内容と実施時期

★西枇杷島小学校区

- ・西枇杷島小学校は、2017 年度に長寿命化改修を実施済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図る。
- ・西枇杷島中学校は、2019 年度に長寿命化改修を実施済みであり、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2040 年度を目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
西枇杷島小学校										大規模 改造 (7.2)	
西枇杷島中学校										改築 2040年度 (30.9)	

★古城小学校区

- ・古城小学校は、2020 年度に長寿命化改修を実施し、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2055 年度を目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
古城小学校	長寿命 化改修 (11.1)								大規模 改造 (4.6)		改築 2055年度 (16.7)

★清洲小学校区

- ・清洲小学校は、2017 年度に長寿命化改修を実施済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2035 年度を目途に改築を検討する。
- ・清洲中学校は、2018 年度に長寿命化改修を実施済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2049 年度を目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
清洲小学校									改築 2035年度 (27.1)		大規模 改造 (6.8)
清洲中学校								大規模 改造 (7.3)			改築 2049年度 (26.3)

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値≧50
×:偏差値<50

小・中学校の適正配置方針(2/2)

★清洲東小学校区

・清洲東小学校は、2021 年度に長寿命化改修を実施し、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
清洲東小学校		長寿命 化改修 (11.6)								大規模 改造 (4.8)	

★新川小学校区

・新川小学校は、2018 年度に長寿命化改修を実施済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2035 年度を目途に改築を検討する。

・新川小学校の改築時に、新川福祉センターの複合化を検討する。

・新川中学校は、2020 年度に長寿命化改修を実施し、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2050 年度を目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
新川小学校									改築 2035年度 (23.3)		大規模 改造 (5.8)
新川中学校	長寿命 化改修 (17.9)							大規模 改造 (7.5)			改築 2050年度 (26.9)



★星の宮小学校区

・星の宮小学校は、2020 年度に長寿命化改修を実施し、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2054 年度を目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
星の宮小学校	長寿命 化改修 (9.6)								大規模 改造 (4.0)		改築 2054年度 (14.5)

★桃栄小学校区

・桃栄小学校は、2021 年度に長寿命化改修を実施し、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
桃栄小学校		長寿命 化改修 (10.9)									大規模 改造 (4.5)

★春日小学校区

・春日小学校は、2018 年度に長寿命化改修を実施済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2049 年度を目途に改築を検討する。

・春日中学校は、2019 年度に長寿命化改修を実施済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2057 年度を目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
春日小学校								大規模 改造 (5.7)			改築 2049年度 (20.6)
春日中学校										大規模 改造 (4.9)	

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約 7% 削減 (88,755 ㎡ ⇒ 82,485 ㎡)

※（ ）内の数字は概算工事費を示す（単位：億円）

※小中学校は、改築や改修等を行うタイミングで、近隣の幼児・児童施設や福祉施設等との複合化を検討する

※小中学校は、改築を行うタイミングで、利用状況等を踏まえ、規模縮小を伴う改築を検討する

※清須市学校長寿命化計画に記載があるとおり、今後、学校施設の転用や統廃合等についても、検討する。また、必要に応じて小中一貫校等についても、将来人口や利用状況等を踏まえ、検討する

※改築にあたっては、将来的に人口減少が進展することを見据え、現在の延床面積の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする

※「適正配置計画による効果」に示す延床面積には、複合化する新川福祉センターの増分は含まない。（福祉施設の適正配置計画で計上）

幼稚園・保育園の適正配置方針(1/2)

目指すべきサービスのあり方

少子化による年少人口の減少、共働き家庭の増加による保育ニーズの増加など、幼稚園・保育園を取り巻く状況は急速に変化しており、対策が急務である。市が担うべき役割、ライフスタイルなどの社会環境の変化や将来的な市民ニーズの変化等を踏まえつつ、今後も事業を継続していくために民間活力の活用を検討し、安定的かつ質の高い保育・教育サービスの提供を目指す。

対象施設

ネギヤ保育園



延床面積

1,321 m²

経過年数

49年(民営化)

一次評価

D

一場保育園



延床面積

523 m²

経過年数

53年(民営化中)

一次評価

D

花水木保育園



延床面積

2,026 m²

経過年数

9年(長寿命化)

一次評価

C

新清洲保育園



延床面積

937 m²

経過年数

46年(長寿命化)

一次評価

C

中之切保育園



延床面積

1,035 m²

経過年数

49年(民営化)

一次評価

D

朝日保育園



延床面積

725 m²

経過年数

45年(民営化)

一次評価

D

星の宮保育園



延床面積

990 m²

経過年数

43年(民営化)

一次評価

D

須ヶ口保育園



延床面積

1,631 m²

経過年数

10年(長寿命化)

一次評価

C

西枇杷島第1幼稚園



延床面積

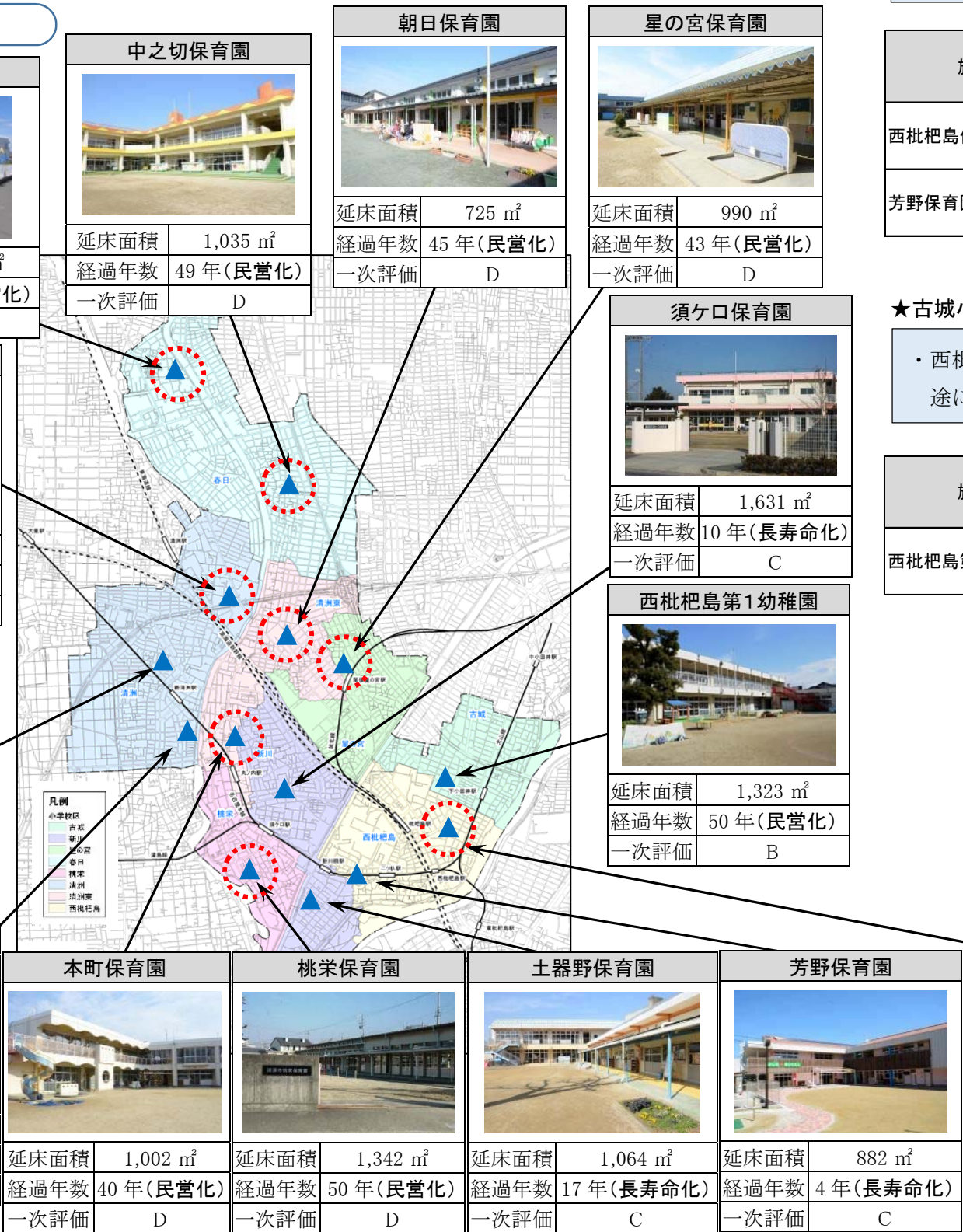
1,323 m²

経過年数

50年(民営化)

一次評価

B



本町保育園



延床面積

1,002 m²

経過年数

40年(民営化)

一次評価

D

桃栄保育園



延床面積

1,342 m²

経過年数

50年(民営化)

一次評価

D

土器野保育園



延床面積

1,064 m²

経過年数

17年(長寿命化)

一次評価

C

芳野保育園



延床面積

882 m²

経過年数

4年(長寿命化)

一次評価

C

西枇杷島保育園



延床面積

1,208 m²

経過年数

36年(民営化)

一次評価

D

適正配置の内容と実施時期

★西枇杷島小学校区

- 西枇杷島保育園は、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が60年を迎える2044年度までを目途に、改築のタイミングに合わせて民営化を検討する。
- 芳野保育園は、定期的な改修等を行い、80年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
西枇杷島保育園					大規模改造 (1.0)					民営化 2044年度 (-)	改築 (4.0)
芳野保育園									大規模改造 (0.8)		長寿命化 改修 (1.8)

★古城小学校区

- 西枇杷島第1幼稚園は、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が60年を迎える2030年度までを目途に、改築のタイミングに合わせて民営化を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
西枇杷島第1幼稚園	大規模改造 (1.1)							民営化 2030年度 (-)	改築 (4.4)		大規模改造 (1.1)

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値≥50
×:偏差値<50

※経過年数は2020年3月時点

幼稚園・保育園の適正配置方針(2/2)

★清洲小学校区

- ・一場保育園は、建築後の経過年数が 55 年目となる 2020 年度から民営化となる。
- ・花水木保育園は、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。
- ・新清洲保育園は、2017 年度に長寿命化改修を実施済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図るとともに、建築後の経過年数が 80 年を迎える 2054 年度を目途に改築を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
花水木保育園								大規模 改造 (1.7)			長寿命化 改修 (4.0)
一場保育園	民営化 (-)							改築 (1.7)			大規模 改造 (0.4)
新清洲保育園									大規模 改造 (0.8)		改築 2054年度 (2.8)

★清洲東小学校区

- ・朝日保育園は、2012 年度に大規模改造を実施しているが、建築後の経過年数が 60 年を迎える 2035 年度までを目途に、改築のタイミングに合わせて民営化を検討する。
- ・本町保育園は、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が 60 年を迎える 2040 年度までを目途に、改築のタイミングに合わせて民営化を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
本町保育園	大規模 改造 (0.8)									民営化 2040年度 (-)	改築 (3.3)
朝日保育園	大規模 改造 (0.6)								民営化 2035年度 (-)	改築 (2.4)	大規模 改造 (0.6)

★新川小学校区

- ・須ヶ口保育園は、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。
- ・土器野保育園は、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
須ヶ口保育園								大規模 改造 (1.3)			長寿命化 改修 (3.2)
土器野保育園				大規模 改造 (0.9)						長寿命化 改修 (2.1)	

★星の宮小学校区

- ・星の宮保育園は、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が 60 年を迎える 2037 年度までを目途に、改築のタイミングに合わせて民営化を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
星の宮保育園	大規模 改造 (0.8)								改築 (3.3)	民営化 2037年度 (-)	

★桃栄小学校区

- ・桃栄保育園は、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が 60 年を迎える 2030 年度までを目途に、改築のタイミングに合わせて民営化を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
桃栄保育園	大規模 改造 (1.1)							民営化 2030年度 (-)	改築 (4.4)		大規模 改造 (1.1)

★春日小学校区

- ・中之切保育園は、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が 60 年を迎える 2031 年度までを目途に、改築のタイミングに合わせて民営化を検討する。
- ・ネギヤ保育園は、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が 60 年を迎える 2031 年度までを目途に、改築のタイミングに合わせて民営化を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
中之切保育園	大規模 改造 (0.9)							民営化 2031年度 (-)	改築 (3.4)		大規模 改造 (0.9)
ネギヤ保育園	大規模 改造 (1.1)							民営化 2031年度 (-)	改築 (4.4)		大規模 改造 (1.1)

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約 60% 削減 (16,009 m² ⇒ 6,446 m²)

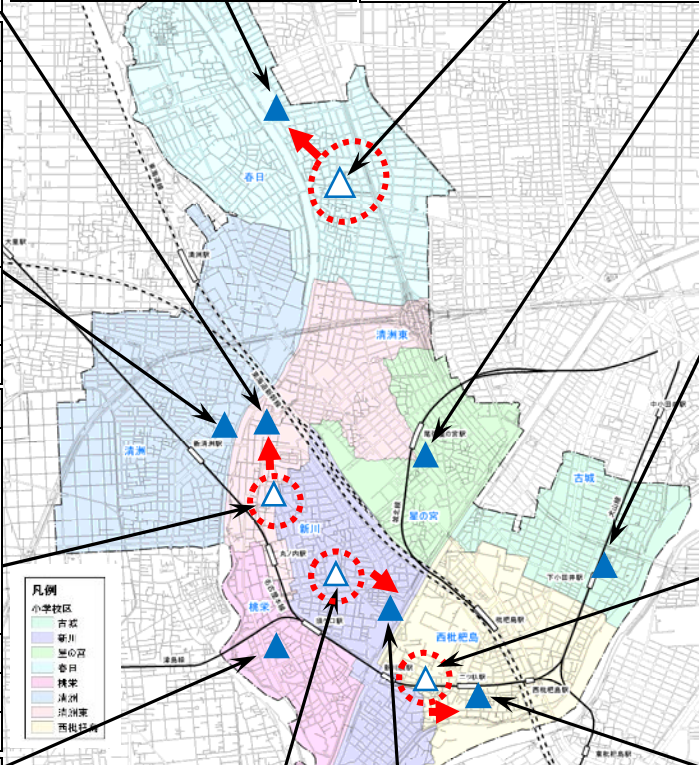
※グレー字の項目は、民営化を実施しない場合に実施する改修等の内容を示す
※（ ）内の数字は概算工事費を示す（単位：億円）
※民営化する場合は、市が管理する延床面積が 0 m²に縮減すると仮定する
※改築にあたっては、将来的に人口減少が進展することを見据え、現在の延床面積の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする

幼児・児童施設の適正配置方針(1/2)

目指すべきサービスのあり方

地域全体による子育て支援の基盤形成を図る目的で設置され、少子化及び人口減少対策の一翼を担う重要な施設である。利用状況の実態や市民ニーズ等の分析により集中と効率化を図り、地域の拠点となる児童福祉施設を整備することによって、子育て交流や地域コミュニティづくりの場を設け、親子の健康を守り、子育て世帯の負担を低減するための子育て支援サービスや相談体制の充実を図る。

対象施設

清洲児童センターウイング		春日児童館		春日子育て支援センター		星の宮児童センター			
									
延床面積	453 m ²	延床面積	494 m ²	延床面積	90 m ²	延床面積	948 m ²		
経過年数	17 年(統合)	経過年数	30 年(統合)	経過年数	49 年(統合)	経過年数	14 年(長寿命化)		
一次評価	A	一次評価	C	一次評価	B	一次評価	A		
清洲児童館								小田井児童館	
									
延床面積	400 m ²							延床面積	440 m ²
経過年数	42 年(改築)							経過年数	30 年(長寿命化)
一次評価	B							一次評価	C
清洲子育て支援センター		西枇杷島子育て支援センター							
									
延床面積	58 m ²	延床面積						65 m ²	
経過年数	40 年(統合)	経過年数						4 年(長寿命化)	
一次評価	B	一次評価						A	
桃栄児童館		新川子育て支援センター		新川児童センター		西枇杷島児童館			
									
延床面積	294 m ²	延床面積	146 m ²	延床面積	378 m ²	延床面積	306 m ²		
経過年数	28 年(長寿命化)	経過年数	52 年(統合)	経過年数	4 年(統合)	経過年数	41 年(R1 移転改築中)		
一次評価	C	一次評価	B	一次評価	C	一次評価	B		

適正配置の内容と実施時期

★西枇杷島小学校区

- 西枇杷島子育て支援センターは、建築後の経過年数が 20 年を迎える 2036 年までを目途に、西枇杷島児童館への統合を検討する。
- 西枇杷島児童館は、2019 年度に移転改築済みであり、80 年を目標とした長寿命化を図る。その際、西枇杷島子育て支援センターを複合化するため、20 年目で実施する 2039 年の大規模改造を前倒しする。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
西枇杷島児童館									大規模改造 (0.4)		
西枇杷島子育て支援センター								統合 2036年度 (-)		大規模改造 (0.1)	長寿命化 改修 (0.1)

★古城小学校区

- 小田井児童館は、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
小田井児童館 (複合施設)								長寿命化 改修 (0.9)			大規模 改造 (0.4)

★清洲小学校区

- 清洲児童館は、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が 60 年目を迎える 2038 年度を目途に改築を検討する。改築後は定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ~2031	2032 ~2036	2037 ~2046	2047 ~2056
清洲児童館	大規模改造 (0.3)									改築 2038年度 (1.2)	

※経過年数は 2020 年 3 月時点

(※)一次評価の判定区分

区分	A	B	C	D
ハード	○	×	○	×
ソフト	○	○	×	×

○:偏差値 $\geq$ 50
×:偏差値 $<$ 50

幼児・児童施設の適正配置方針(2/2)

★清洲東小学校区

- ・清洲児童センターウイングは、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。
- ・清洲子育て支援センターは、大規模改造を実施せず、2023 年度の清洲児童センターウイングの大規模改造時期に合わせて、同施設との統合を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
清洲児童センターウイング				大規模改造 (0.4)						長寿命化改修 (0.9)	
清洲子育て支援センター	大規模改造 (0.1)			統合 (-)						改築 (0.2)	

★新川小学校区

- ・新川子育て支援センターは、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が 60 年目を迎える 2028 年度までを目途に、新川児童センターへの統合を検討する。
- ・新川児童センターは、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。その際、新川子育て支援センターを複合化するため、20 年目で実施する 2036 年度の大規模改造を前倒しする。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
新川児童センター								大規模改造 (0.3)			長寿命化改修 (0.7)
新川子育て支援センター	大規模改造 (0.1)							統合 2028年度 (-)	改築 (0.5)		大規模改造 (0.1)

★星の宮小学校区

- ・星の宮児童センターは、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
星の宮児童センター							大規模改造 (0.8)			長寿命化改修 (1.9)	

★桃栄小学校区

- ・桃栄児童館は、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
桃栄児童館									長寿命化改修 (0.6)		大規模改造 (0.2)

★春日小学校区

- ・春日児童館は、定期的な改修等を行い、80 年を目標とした長寿命化を図る。また、40 年目で実施する 2030 年度の長寿命化改修に合わせて、春日子育て支援センターの統合を検討する。
- ・春日子育て支援センターは、大規模改造を実施せず、建築後の経過年数が 60 年目を迎える 2031 年度の改築時期を 1 年前倒し、春日児童館への統合を検討する。

施設名	第1期							第2期		第3期	第4期
	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027 ～2031	2032 ～2036	2037 ～2046	2047 ～2056
春日児童館								長寿命化改修 (1.0)			大規模改造 (0.4)
春日子育て支援センター	大規模改造 (0.1)							統合 2030年度 (-)	改築 (0.3)		大規模改造 (0.1)

適正配置方針による効果 ➡ 総延床面積 約 2% 増加（4,072 ㎡ ⇒ 4,165 ㎡）

※（ ）内の数字は概算工事費を示す（単位：億円）
※グレー字の項目は、統廃合等を実施しない場合に実施する改修等の内容を示す
※西枇杷島児童館の 2020 年度以降の事業費は、改築後の延床面積 439 ㎡を基に試算する
※児童館及び児童センターは、近隣小学校が改築や改修等を行うタイミングで、同施設との複合化を検討する
※改築にあたっては、将来的に人口減少が進展することを見据え、現在の延床面積の 90%まで規模縮小を図ることを前提とする
※統合する子育て支援センターは、保育園の複合施設であるため、統合しても延床面積が縮減しないものとする（別途、保育園の適正配置計画で考慮）